

【年間テーマ 抑制を少しでも減らせるようにする】

平成 27 年 10 月 19 日提出

日付	平成 27 年 10 月 10 日 (土)			
場所	福岡ビル		記録者名：西	
出席者 (敬称略)	金隈病院 田中 英利	広橋病院 甲斐 美穂	北九州津屋崎病院 吉田 千鶴美	福西会南病院 前田 弓子
	新小倉病院 西 耕一	津屋崎病院 大塚 陽子	戸畑けんわ病院 三口 賢治	松尾内科病院 笠 陽子
	原土井病院 下木原 好実			
テーマ	ミトンについて			
結論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にミトンを着用の対象者は、経鼻栄養チューブ、胃ろう、オムツ外しする方</li> <li>・各病院、毎月、毎週、毎日など評価を行っている。</li> <li>・ミトンを外す取り組みを行っている。(経管中以外でミトンを外す等)</li> </ul>			
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミトン着用の対象患者のほとんどが経鼻栄養チューブで、経管中に抜かれると危険な為、経管中以外に少しでも外す取り組みを継続して行っていく。</li> </ul>			
備考				
次回討論項目	4本柵・ミトンの現状報告とナースコールの対応・スピーチロックに関して。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E・メールアドレス [info@fukuokakenryo.jp](mailto:info@fukuokakenryo.jp)

(FAX.092-691-3961)